

# 国語科におけるキャリア教育の授業実践

大和中学校 鮎澤 智美

## 授業のポイント

「どのように生きていくか」ということを考え、そのための力を付けようとするとき、国語科で担っていることはすべてキャリア教育につながっていると感じる。ここでは特に意見文を取り上げながら、主体的に物事をとらえ発信していく姿勢を育てていきたい。

- (1) 単元名 根拠を明確にして意見を書こう  
意見文を書く (光村図書 2年)
- (2) 単元の目標 経験に関わる事柄や問題に対して自分の意見を筋道立てて文章に書くこと、またそれを聞き合うことで、考えを広めていく力を伸ばす。
- (3) 単元の総学習時間 4時間

## (4) 生徒の実態

男子4名、女子4名、計8名の学年(うち男子1名ひまわり学級)である。素直で学習意欲は高く、授業にも真面目に取り組んでいる。生徒の仲は良く、話すことが好きだが、あくまでも主観的で「根拠」という視点はあまりない。1学期は1年生と合同で宿泊学習(甲府市内めぐり)に行ったり、勝沼中との交流授業を行ったりした。また、夏休み中は職場体験、総体、ボランティア、平和展見学などを経験している。これらの体験が自分の考えをもつきっかけになっていくのではないかと考えている。

### 【キャリア教育の視点から】

#### 〈人間関係形成能力・社会形成能力〉

幼いときから同じメンバーで、互いの距離感が近い。大人との関わり方も、時と場合の接し方を意識して学ばせる必要がある。2年生も半ばとなり、個々の違いに目を向けさせ、それぞれが自己を高めていく時期となってきた。

#### 〈自己理解・自己管理能力〉

生徒の生活や考え方に対する家庭の影響が、とても強い。帰りの会の「振り返りの時間」に家での学習計画をたて、翌日の「大和プロジェクト」で確認するという取り組みを始めて、家庭学習の習慣がついてきた。

#### 〈課題対応能力〉

何事にも意欲的に頑張りたいという生徒が多いが、できない生徒に対する理解が難しい。どの生徒も本来やる気もあり力もあるので、積極的にチャレンジさせ自信をつけさせていきたい。

#### 〈キャリアプランニング能力〉

外へ出ていく機会が増え、客観的に自分を見つめたりリーダーとなって動いたりすることが増えてきた。それぞれの良さを自覚させ、活躍させたい。

(5) 指導と評価の計画

※評価の観点 a 関心・意欲・態度 b 話す・聞く力 c 書く力  
d 読む力 e 言語に関する知識理解

時間	学習項目 内容	評価規準						評価 方法	キャリア教育の視点での 生徒が身につける能力
			a	b	c	d	e		
1	意見文の 説得力を 考える ・投書 ・AB	二つの文章を 比べ、根拠を 示す必要性を 理解している。	○		○			ワークシ ート 観察	「キャリアプラン ニング能力」
2	意見文を 書く	意見と根拠を 明らかにしな がら意見文を 書いている。			○			ワークシ ート 意見文	「課題対応能力」
3 (本 時)	意見文を 読み合っ て助言し 合う。 ・少年の主 張	意見と根拠を 観点に意見文 を聞き、よい 点、改善点を 考えている。		○				ワークシ ート 観察	「人間関係形成能 力・社会形成能力」
4	推敲し、 まとめる	アドバイスを もとによりわ かりやすい文 章を書してい る。			○			ワークシ ート 意見文	「自己理解・自己 管理能力」

(6) 本時の授業

①日時 平成28年8月31日水曜日 14:00～

②場所 大和中学校2年教室

③本時の目標

意見と根拠を観点に意見文を聞き、よい点、改善点を考えることができる。

④展開

	学習内容	教師の支援	留意点
導 入  10 分	1、本時の目標をつかむ 意見文を読み合い、良い 点や改善点を考えよう	1、学習目標を理解させる	・目標シート ・ワークシート ・意見文
	2、「少年の主張」を聞 く	、主張と根拠は何だったか	関心・意欲・態度

展 開 I 20 分	3、グループごとに意見 文の交流をする。 ABグループ ・司会 ・発表者 ・聞き手	3、主張と根拠の確認をし 良い点や改善点を発表し 合う ・司会に進行させる。 ・聞き手がワークシート記入 ○ ? アドバイスを口頭で ・発表者がメモをとる	・ワークシート ・観察  b 話す・聞く
展 開 II 10 分	4、どんな良い点や改善 点が出たか、全体で 発表する	4、各グループから発表させ る	
ま と め 10 分	5、本時のまとめと次回 の確認をする <u>意見文を読み合い、良い 点や改善点を考えられた か</u>	5、感想発表させる	・ワークシート

⑤評価

意見と根拠を観点に意見文を聞き、よい点、改善点を考えることができたか。

（研究討議から）

（授業者より）

- ・生徒は人なつこく自由でのびのびとしているが大人としてのやりとりを学ばせたいと考えている。そんな中での実践。
- ・時間のない中での取り組みだったが、グループ学習では観点をもう少し具体的に示せたら良かった。
- ・他校の先生方からアドバイスをもらえたことが嬉しかったようだ。

（質疑応答）

☆提示された「少年の主張」はどのように書かれたのか。

→身近な出来事から大事な気づきを探していくことができるようにアドバイスしながら作文を仕上げた。どの生徒にも、作文の指導を通して気づきの視点を広げ、考えを文章化する力をつけたいと考えている。

☆他の意見を聞き、アドバイスを受けいれながら学ぶ姿が良かったが「主張」について互いに意見を出すとなると感想的なものに近づいてしまうので、少し弱いものになってしまうのではないか。

→教科書では環境問題を題材としている。論説文をもとに書けばより「主張」の強いものになったが、各自の体験を根拠として主張までもっていくことをさせてみたかった。

→感想を通して主張までもっていくことができれば「題名」も明確になると考えている。

(意見)

- ☆国語科における「主体的に学習に取り組む態度の」の育成に添った授業が展開されていた。
- ☆話し合いでは、相手を傷つけないように優しくアドバイスをしていた。子ども達の間関係が良いので、話し合いもほほえましく感じた。
- ☆短い文章の子どもにも、具体的に質問するとたくさんの答えが返ってきた。文章にできない部分も話し合いで大きな手助けになっていた。
- ☆全員が必ず発言するという環境や日頃からの人間関係、教師の指導の中に写真などを取り入れていること、指導の仕方など全てが良い方向にいていたと思う。
- ☆アクティブラーニングの観点で研修(大学)したことが、今日の授業に取り入れられていた。今日の授業のアプローチの仕方は今、社会で求められていることなのだと改めて感じた。
- ☆勝沼中との交流授業ではわからなかったが、グループ活動がスムーズにできていた。
- ☆これまで培ったものが授業で存分に生かされていた。生徒は高校など新しいところでも自信をもってほしい。
- 主張を明確にするために、例えば「学校生活に生かす」と書いている場合でも何をどのように生かしていきたいのかが書けると良い。

(講評)

- ・休み明けで大変な時期だが、見方を変えると3時間でここまでの授業ができるのだと感じた。「対話的、主体的な授業による深い学び」を目指すのにふさわしい授業だった。根拠→主張が直線的でなかったところの指導を。
- ・子どもの「聞く態度」がとても良い。雰囲気も良くコミュニケーションの第一歩だ。作品の良いところをどんどん出し合い良い話し合いだった。最後の感想発表で出て来たことも生徒が自ら気付くことができたのが良かった。人にわかってもらうには根拠がきちんとしていないといけない。数学科でも「説明」から「証明」に変わるのが中2の時期である。

(資料)

7 意見文の題名をつけよう

例) 〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇

6 グループでの話し合い

アドバイスを感じたことをメモしておこう

5 姉妹習字

「少年の主張」を聞いてみよう。

3 女子習字グループ

種別①	職業②
ラジオ局	J A 勝沼
職場③	職場④
資金商店	図書館
パト開庫	十二神楽
自由①	自由②
自由③	
韓国	

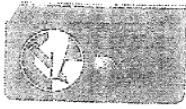
4 進行の仕方

司会

- 話し合いのテーマとメンバー確認
- 一人目から順に発表  
(聞き手はシートにチェックを入れる)  
・主張はどこか↓ピンクの蛍光ペン
- 意見文に關わる質問→やり  
・根拠(体験)と主張の関連はどうか  
構成(段落、誤字、脱字、接続、主述  
文末表現)同じ言葉の繰り返し
- よい点、改善点の話し合い
- 話し合いのまとめ

2 学習者の流れ

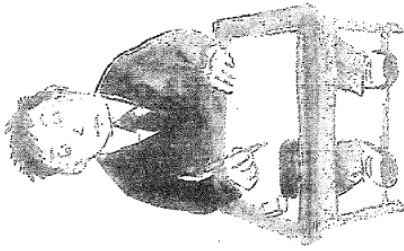
時	内容	評価
1	課題設定	・意見文の根拠と効果について理解できた。
2	取材構成	・構成(双括弧・動括弧・尾括弧)についてわかった。
3	記述	・テーマ「職業体験」「自由課題」から一つ選び、自分の考えを意見文にまとめることができた。
4	交流	・意見と根拠を軸に意見文を聞き合い、よい点、改善点を考えることができた。
5	推敲	・アドバイスされたことをもとに、より良い意見文に仕上げることができた。



# 根拠を明確にして意見を書こう

## 意見文を書く

体験したことや身の回りで見聞きした出来事、また、さまざまなメディアを通して伝えられる世の中の出来事に対して、私たちは、納得、賛同、疑問、批判などさまざまな意見をもつ。こうした意見を深め、発信するためには、自分の意見を見つめ直し、根拠を明確にして書くことが大切だ。



### ① 課題を決めよう

① 情報を集める

ここでは、環境問題について、意見文を書こう。体験や見聞きしたことを振り返ったり、新聞・テレビ・インターネット、本などを通して知ったことの中から、興味をもった事柄を課題に選ぼう。

#### ① 環境問題の課題例

- 【ごみ】 リサイクル、過剰包装、循環型社会
- 【空気に】 緑地や自然、外来種、生物多様性
- 【地球温暖化】 異常気象、海面上昇
- 【エネルギー】 再生可能エネルギー、省エネルギー など

### ② 意見と根拠を明らかにしよう

#### ① 情報を集め、自分の意見を決める。

課題を決めたら、それに関する情報(事実、調査結果、専門家の考え、アンケートなど)を集め、カードなどに記録していこう。

集めた情報の中から、特に気になる事柄を取り上げ、自分の意見を導き出す。一文で、できるだけ簡潔に表そう。

#### ② 意見を伝える根拠を絞る。

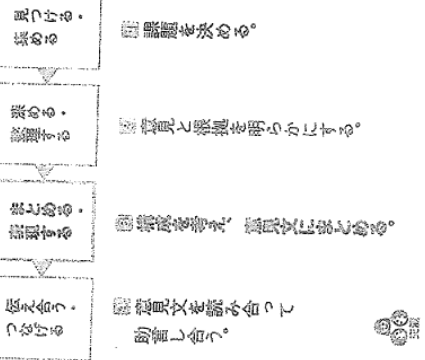
①の意見を導き出す基になった情報を中心に、意見を支える根拠を考えよう。必要であれば、さらに、情報を集める。

### ③ 意見文を書く

- ① 社会生活の中から課題を決めて、情報を集め、自分の意見をもつ。
- ② 自分の意見とその根拠を明確にして、文章構成を工夫して書く。

### ④ 意見文の構成

- ① この課題について、何を調べよう
- ② ①の情報を集めよう
- ③ ①の意見を導き出す根拠を絞る



### ⑤ 情報を集め、自分の意見を決める例

リサイクルについて集めた情報(登録なし)

ア 日本では、循環型社会の実現を目指して、<sup>37</sup> R1(リデュース・リユース・リサイクル)が進められている。

イ リデュースはごみを減らすこと、リユースは再使用すること、リサイクルは再資源化の感。

ウ 日本では、使用済みのパソコンの回収やリサイクルが活発で進められている。

エ パソコンの他、家電、食器、楽器包装、自動車などもリサイクル法がある。

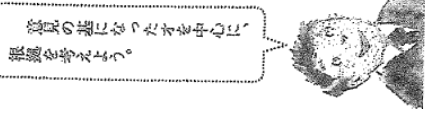
オ ガイナでは、外国から輸出されてきた中古パソコンが廃棄物となり、環境を汚染している。

カ 日本では、一人当たり、一日約一キログラムのごみを出す。

...

意見

リサイクルは、国内だけでなく、地球的な視点から考えなくてはならない。



③ 反論を想定し、意見を深める。

自分の意見や根拠に対する反論を想定すると、意見をより明確にしたり、深めたりすることができる。集めた情報を見返したり、友達と課題について話し合ったりして、反論を想定してみよう。

④ 構成を考え、意見文にまとめよう

意見と根拠、反論に対する考えをどのような順序で書くか、構成メモを作って考えよう。

下の例は、まず意見を示し、次に根拠などを述べ、最後に再度意見を述べる双括型という構成である。

構成を決めたら、六百字から八百字程度でまとめよう。書き終えたら、必ず、推敲をしよう。

**構成メモ (双括型)**

**意見**

- ・パソコンリサイクルの現状(課題)
- ・リサイクルの問題は地球規模で考えるべき

**根拠**

- ・カーナの廃棄パソコンの問題
- ・深刻な問題、人道的にも許されない

**反論への考え**

- ・反論 国内で資源の無駄が……
- ・考え 従前はますます拡大……

**意見**

- ・地球規模、広い視野で考えるべき

⑤ 意見文の例

日本では、使用済みのパソコンは、パソコンメーカーなどが回収し、リサイクルすることが法律で義務づけられている。そのため、国内でのリサイクル率はたいへん高い。しかし、世界にはそうではない国もある。私は、リサイクルの問題は、日本だけでなく、地球全体の視点でみるべきだと考える。

アフリカのガーナのある地域では、外国から輸出されてきた使用済みパソコンが、廃棄物として山積みになっている。これらは外国から中古パソコンとして輸出されてきたものの、実際には使い物にならず廃棄されたものや、部品をリサイクルするにも、専門的な知識や技術が不足していて放棄されたものである。パソコンなどの電子機器には、部品に有害な物質を含むものもあり、埋地で深刻な環境汚染や健康被害を引き起こしているのだ。このことは、環境問題としても、また、人道的な面からもどうして許されることはないだろう。

日本国内で、資源の循環ができていけば問題ないと考える人もいるかもしれない。しかし、そのような考え方を掲げているのは、このような報告はますます拡大するだろう。そして、いずれ地球規模の問題として、私たちが身にも降りかかってくるだろう。

人やお金や物が国境を越えて活発に動く現代は、私たち一人一人の行動や考え方が、世界のどこかで何らかの影響を与えずにはおかない。このことを肝に銘じ、リサイクルやごみ問題について地球全体の視点で考えていく必要があると思う。

⑥ 意見文を読み合って助言し合おう

次のような観点で文章を読み合い、よい点、改善点を話し合おう。

- 意見が明確に述べられているか。
- 根拠が意見を支えるものとして納得がいくものになっているか。
- 反論を検討して、意見を深めているか。

172 糾 <small>ツク</small>	糾 <small>ツク</small>	糾 <small>ツク</small>	糾 <small>ツク</small>	糾 <small>ツク</small>	糾 <small>ツク</small>
174 括 <small>ク</small>	括 <small>ク</small>	括 <small>ク</small>	括 <small>ク</small>	括 <small>ク</small>	括 <small>ク</small>

⑦ 意見文の推敲の観点例

- 文章の構成は明確になっているか。(双括型の他、頭括型(意見+根拠)、尾括型(根拠+意見)がある。)
- 内容に応じて敬語を分けているか。
- 敬語どうしのつながりはわかりやすいか。

**学習の要** 明確な意見文を書くには

- 自分の意見は、書きだしたとまどめに示す(双括型)とわかりやすい。
- 賛成か反対かが求められる課題や、複数の選択肢のある課題の場合には、自分がどの立場に立つのかを明確に示す。
- 意見を支える根拠を具体的に示す。
  - 根拠は、意見を強く支えるものに絞る。
  - 必要に応じて、具体的な名称や数値を示す。
- 反論を想定し、それに対する考えを示す。

▽書きだし 課題を示し、それに對する自分の意見を簡潔にまとめる。

▽根拠 自分の意見を支える根拠を

提示する。  
● 具体的な根拠を、それに対する見方を詳しく書く。  
● 内容が埋めだしたとき、必ず双括型( )と、考えを詳しく文末添削( )とを併用する。

▽反論を踏まえた考え 反論( )と、反論を踏まえて考えたこと( )を書く。

▽まとめ 根拠や反論を踏まえ、改めて自分の意見をまとめる。

学習を振り返る

- 自分の意見をもつことできたか。
- 十分な情報を集めて、意見を決めたか。
- 説得力のある意見文となるように工夫したか。
- 文章構成を工夫して書いたか。
- 根拠となる資料を具体的に調べたか。
- 反論を想定し、それに対する考えを示したか。

生活に生かす

- 弁論大会の原稿を書く。
- 新聞に投稿する。

## 少年の主張「主体的に考える姿勢」 大和中学校二年

私たちのクラスでは、一年生のころから朝の会で、スピーチをしています。その時々話題は身近なものが多いですが、世相を反映しているニュースもあります。

例えば「選挙権、十八歳引き下げ」というニュースでは、賛否両論の意見が出ました。政治についてあまり知らない人が多く関心がないので投票率が変わらないのではないか、という否定的な意見。一方高校で模擬選挙をして学習することで世の中の仕組みが理解できるのではないか、という積極的な意見。私は自分のことではないから誰がやってもどうせ同じだという気持ちでいました。国会で話し合っていることが私達とはかけはなれていて感じていたからです。でも私の考えを変え、話し合うことの大切さを気づかせてくれる出来事がありました。

四月、私達の学校でも恒例の生徒総会がありました。これは言ってみれば私達にとって国会のようなものです。議案書検討の時、「二年生になったから全部賛成だと話し合いがつまらなくなってしまう。」という意見が出ました。すると全体で話し合った時は「いいじゃん。」と賛成していたことも、グループでは自分が本当にそれがしたいのか、もつと違う方法はないのかといろいろな修正案が出てきました。与党と野党ではないですが、よりよくしたいと考え始めたら一年の頃よりずっと生徒総会への姿勢が真剣で楽しいものになっていったのです。そんな中、私は生徒総会の議長を任せてもらえました。生徒会執行部と一般の人をつなぐ立場になり、また見方が変わりました。

議長として意見を聞いていると様々な立場で議事について考えられていることがわかります。質問に対する執行部の回答を聞くと、より提案の意図がはつきりし、また同じ賛成意見でもその理由は異なっていることに気づきました。そうすると、「生徒総会」そのものは混乱なく進んでいるけれども、その中では納得や理解がそこにあり、政治も同じことが言えるのではないのでしょうか。誰がやっても同じではなく、納得や理解をしていくために参加していくことが大切だと思うようになりました。

最後の議題では、ゲーム、携帯、テレビ、スマホ、SNSに関する「我が家のルール」について見直す項目がありました。昨年までは各家庭で提出するだけでしたが、今回お互いどんなルールがあるのか意見を出し合ってみることにしました。議長の私は「夜九時以降は親の許可がないとつかわないというルールがあります。だから、返信がなくても起こらないでください。」と話し、そこから少し時間をとって自分の家のようすを思い出してもらいました。私は家でルールが決まってもみんなが知らないと不都合があり、困っていたので、みんなの前で話すことですつきりしました。その後「発表してください。」と言ったとたん次々と手が挙がりそれぞれのルールが出てきたことに私はびっくりしました。親の見える範囲でする、個人情報を出さないなど、自分の言葉で宣言することによってより明確に意識され、議事が深まったと思います。

私は誰がやっても同じではなく一人ひとりが考えることでよりよい方向に物事が進むと今は思います。ですから私はこれからも主体的に考えていく姿勢を持ち続けていきます。

職場 ③

A さん

before

私は、物を作るために必要はたくさん人の協  
 力がたくさん時間やお金、技術が必要だと  
 思う。  
 私は今年、中学校二年生なので夏休みに職  
 場体験に行きました。私が行った場所は、資金属  
 関係の会社で製造、販売まで行っていました。  
 その事業所では様々な部署があり、様々な  
 事をしていた。私が見学した所が一番すごい  
 と感じたところは、やはりたくさん人の職人さ  
 んがいて製造所のようでした。そこで  
 文字をばったり、空石を研磨したり、指輪に  
 空石をつけたり、指輪のサイズ直しをしてい  
 ました。そこでほとんどの技術が必要でした。  
 この他の所でまほうや干干などを型に入れ  
 所がわり、もちろん技術は必要だがお金もた  
 く工人がかかるという。時間がかかり、  
 として他の部署も検品をしたりして、  
 品質を上げて一つの製品が出来たため、私  
 たちはたくさん人の力を借りてつくった

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

A4 20x20

- ・不必要な言葉を減らす。
- ・長い文を短く。
- ・同じ言葉の繰り返しを減らす。
- ・IPから接続詞で結論づけ。

※「下」は課題

私は、物を作るために必要はたくさん人の協  
 力がたくさん時間やお金、技術が必要だと  
 思う。  
 私は今年、中学校二年生なので夏休みに職  
 場体験に行きました。私が行った場所は、資金属  
 関係の会社で製造、販売まで行っていました。  
 この事業所では様々な部署があり、様々な  
 事をしていた。私が見学した部署で一  
 つは、製造所のようでした。そこで  
 文字をばったり、指輪に空石をさつけたりし  
 ていました。そのほかのところで、指輪のサイ  
 ズ直しや、空石を研磨したり、指輪に空石を  
 つけたり、指輪のサイズ直しをしていま  
 した。このほかの所で、まほうや干干などを  
 型に入れ、所がわり、もちろん技術は必要  
 ですが、お金もたくさんかかるという。時間  
 がかり、として他の部署も検品をしたりして  
 品質を上げて一つの製品が出来たため、私  
 たちはたくさん人の力を借りてつくった

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁



Before

Unit 20  
Bさん

学年名	学年	氏名	性別
			男・女

地域のつながり、つまり人と人とのつながりは大切だと思ひます。夜のはたでいる田舎には神々十二神衆といふものがあつて、奥から舞つています。この神衆には、舞臺器を使う人、着物の着つけを担当する人など、男性だけが、三十人は必要となります。ですから、地域とのつながりが必要となります。で、僕らの住んでいる田舎のような行事がない、人と人とのつながりをつくらせると思ひます。

- ・段落を作った。字を抜いた。
- ・文法表現の統一
- ・接続詞の使い方
- ・双括弧の言い回しを同じにし、わかりやすく。

After

学年名	学年	氏名	性別
			男・女

地域のつながり、つまり人と人とのつながりは大切だと思ひます。神々の住んでいる田舎には三百六十神々、奥から舞つています。この神々には、舞臺器を使う人、着物の着つけを担当する人など、男性だけが、三十人は必要となります。ですから、地域とのつながりが必要となります。で、僕らの住んでいる田舎のような行事がない、人と人とのつながりをつくらせると思ひます。その一つとして、夜のはたでいる田舎には神々十二神衆といふものがあつて、奥から舞つています。この神々には、舞臺器を使う人、着物の着つけを担当する人など、男性だけが、三十人は必要となります。ですから、地域とのつながりが必要となります。

# Before

自由

Cさん

学年	年	組	氏名	性別
				男・女

私は、韓国と日本の交流を深めたほうが良いと思う。日本には韓国をきらっている人が多いため、韓国はとても良い国だと私は思う。なぜなら、食事はおいしいけれど優しく、親切な人が多い。それに、食事もとてもおいしく、ファッションの最先端をいっている国だ。日本もよく韓国ファッションを真似したりしている。だから私は韓国と日本が仲良くしてほしいと思う。

「おもしろい」と思われる理由を

- ・「おもしろい」という接続詞を使って理由を加えている。(2つの例)
- ・「好きなこと」の感嘆詞に感動が入っている。

# After

・おもしろい説得力を増している。

学年	年	組	氏名	性別
				男・女

私は、韓国と日本の交流のためには、韓国と日本が仲良く、交流の深い国になることが、とても良いと思う。日本には韓国をきらっている人が多いため、韓国はとても良い国だと私は思う。なぜなら、食事はおいしいけれど優しく、親切な人が多い。それに、食事もとてもおいしく、ファッションの最先端をいっている国だ。日本もよく韓国ファッションを真似したりしている。だから私は韓国と日本が仲良くしてほしいと思う。